

# 早稲田大学 商学部 2020 日本史

1 次の記事を読んで、下記の設問(A~J)に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

古代には、駅路や伝路とよばれる官道が整備された。駅路は、中央と地方の国府を結ぶ道で、30里(約16km)ごとに駅がおかれ、駅には駅馬がおかれた。伝路は、地方豪族の拠点となる場所をつないでいた道から発展し、郡家どうしや郡家と国府を結ぶもので、郡家には伝馬がおかれた。公用で旅する人々は、用件の内容や当人の位階に応じて、これらの馬を利用することができた。

古代国家は、地方を東山道、北陸道、東海道、南海道、山陰道、山陽道、西海道の七道に分けて支配したが、七道は行政区分であるとともに、駅路の名称でもあった。駅路は各国の国府を結んでおり、各国との間で迅速に情報伝達を行えるようになっていた。駅路は直線的に整備されたが、武蔵国ははじめ東山道に属していたため、東山道は上野国新田駅と下野国足利駅の間から、武蔵国府へと南下する東山道武蔵路が伸びていた。都から東山道に派遣された使者は、上野国から一度、武蔵国府の所在した東京都府中市まで南下してから、また北上して下野国に向かわなければならなかったのである。一方で東海道は、はじめはホ国から東京湾を海路でヘ国に渡るとというのが主な駅路であったが、ホ国から武蔵国府を経てト国に至る道も整備されていった。そのため771年に、武蔵国は東山道から東海道に移管されることとなった。

七道の多くは小路とされたが、東山道と東海道は中路とされた。これは蝦夷征討事業のためと考えられている。東国は蝦夷征討のための拠点とされたことから、東山道と東海道は重視されたのである。

そして大路とされたのは山陽道と、山陽道から大宰府に至る西海道の一部である。山陽道の駅館は瓦葺・白壁となっていたが、これは外交使節が通るためであった。806年には百姓の疲弊や、奈良時代の外交使節が実際には主に海路を利用して来たことを考慮し、駅館の修理の規定を緩和する勅が出されているが、この際にも、ル国の駅館については海から見えることを理由に、従来通りとされている。山陽道は、古代の対外関係において国家の体面を保つために重視されたのである。

このように古代の道は、国家による支配のあり方を体現するものであった。

問A 下線部イについて述べた文として、正しいものはどれか。

1. 衛士によって警備された。
2. 国衙と同様、文書行政が行われた。
3. 納められた調を正倉に保管し、財源とした。 *調は中央の財源 ← 布はくさふないから。*
4. 主に大学で学んだものが派遣されて政務を担った。
5. 郡庁や倉庫が円形に並び、儀礼空間はもうけられなかった。 *租=米はくさるから地方の財源*

問B 下線部ロに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 五位以上の者の子と孫は、21歳になると一定の位につくことができた。 *五位以上の子は位につけが。*
2. 官吏はそれぞれの官職に応じて相応しい位階が与えられるようになっていた。 *孫七位をもつては三位以上が。*
3. 墾田永年私財法では、位階に関係なく墾田が認められた。 *位階に応じて官職が与えられる。*
4. 有位者には、官田が与えられた。
5. 有位者でも、八虐については罪を減免されなかった。

問C 下線部ハについての事項として、正しいものはどれか。

1. 平忠常によって国府が占領された。 ← *上総国の国府*
2. 奈良時代につくられたこの国の『風土記』が現存する。
3. この国で発見された銅が朝廷に献上され、和銅と改元された。 → *和同開珎、鑄造708年。*
4. この国にも古代朝鮮式山城が設置された。 ← *西国*
5. 刀伊が来襲し、国司であった藤原隆家が指揮して撃退した。

問D 下線部ニに流された人物は誰か。

1. 伴健岑
2. 道鏡
3. 早良親王
4. 和氣清麻呂
5. 玄昉

問E 空欄ホ・空欄ヘ・空欄トに入る語の組み合わせとして、正しいものはどれか。

1. ホ-駿河 ヘ-常陸 ト-上総
2. ホ-相模 ヘ-常陸 ト-下総
3. ホ-相模 ヘ-上総 ト-下総
4. ホ-伊豆 ヘ-下総 ト-甲斐
5. ホ-伊豆 ヘ-上総 ト-甲斐

問F 下線部チに関連して設置されたa~eを古い順に並べたものとして、正しいのはどれか。

- a 多賀城 b 秋田城 c 磐舟柵 d 胆沢城 e 出羽柵
1. a→c→b→e→d *724 733 648 802 708*
  2. b→a→c→e→d
  3. b→e→a→d→c
  4. c→e→a→b→d
  5. e→c→b→d→a

問G 下線部リについて述べた文として、正しいものはどれか。

1. 壬申の乱に際して、大海人皇子はこの地域の豪族を軍事力の基盤とした。
2. 藤原純友は、この地域の海賊を率いて反乱を起こした。
3. 山上憶良は、この地域に赴任した際に貧窮問答歌をよんだ。 *筑前守*
4. この地域の兵士は、遠方のため防人を免除された。
5. この地域の俘囚が、柵戸として東北に送られた。

問H 下線部ヌに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 貴族の下に身を寄せて駆使された場合、逃亡とはいわなかった。
2. 三善清行は「意見封事十二箇条」を一条天皇に提出し、地方の実情を指摘した。
3. 偽籍は、正丁に偏重していた税負担から逃れるために行われた。
4. 庸は、畿内や京においては加重されて課せられた。 *京畿内は庸免除*
5. 嵯峨天皇の下で、雑徭は半減された。 *桓武天皇*

問I 空欄ルにあてはまる国はどれか。

1. 但馬
  2. 石見
  3. 美作
  4. 因幡
  5. 長門
- 1,2,4は山陰道、美作は海に面していない*

問J 下線部ヲについて述べた文として、正しいものはどれか。

1. 卑弥呼が楽浪郡に使いを送ったことが、「魏志」倭人伝にみえる。
2. 小野妹子が隋に持参した国書は煬帝によって無礼とされたが、隋は倭に答礼使を送った。
3. 新羅使のために松原客院や能登客院が整備された。
4. 8世紀、外国の使節への応対は大宰府でのみ行われ、入京はさせなかった。
5. 宋への朝貢に際して、日本の使節は硫黄を持参することが多かった。 *日宋貿易は朝貢貿易ではない。*

2 次の記事とその解説文を読んで、下記の設問(A~J)に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

(史料)

かばかりつたなき時世の末に生まれ合ひぬるこそ浅ましく侍れ。五十年あまりのことは明らかに見聞き侍り。それよりこのかたは、天が下、片時も治まれること侍らず。三十年のころより、はるかに東の乱れ出で来て年月を経、幾千万

の人、剣に身を破り、たがひに失せまどひ侍れども、今に露ばかりも治まる道なし。その後いくほどなくて、ハの亭にての御事など出でき後は、年々歳々、天下杖つくばかりも長閑なる所なし。(中略)あまさへ、昔聞きも伝へぬ徳政などといへること、近き世より起こりて、年々辺都の二十方より九重に乱れ入りて、ひとへに白波の世となして、万人を悩まし、宝を奪ひ取ること、つやつや暇なし。かるが故に、民も疲れ、都も衰へ果て、よろづの道、万が一も残らずとなり。

さらに、この七年ばかりのさき、長々しく日照りて、天が下の田畑の毛一筋もなし。都鄙万人上下疲れて浮かれ出で、道のほとりに物を乞ひ、伏しまろび失せ侍る人数、一日のうちに十万人といふことを知らず。まのあたり世は餓鬼道となれり。

乱れかたぶきたる世の積もりにや、いにし年の暮れより、京兆・金吾の間の物云ひ、既然大破れとなりて、天が下すでは二つに分かれてけり。(中略)洛陽の寺社・公家・武家・諸家・地下の家々、一塵も残る所なく、大野焼け原となりて、(中略)都のうち、目の前に修羅地獄となれり。

〔ひとりごと〕

この史料は、心敬という連歌師によって1468年に著されたものである。ここで心敬は50年あまり前からの社会状況を回想しているのだが、京都にいながら、地方での事件も敏感に受けとめていたことがうかがわれる。さらに、京都での事件の後、天下は杖をつくほどの平和な場所もなくなったとし、騒然たる社会状況や、飢饉の惨状などにも言及している。心敬は、この史料の最後の部分で述べられているような状況に至り、京都を離れて関東に下向した。関東も当時は大乱の最中だったが、そこでは、心敬より1年早く下向していた宗祇との交流などもあった。一方、西日本でも地域権力との関わりで文化が興隆していくこととなった。心敬の嘆きは、たしかに社会の一側面をあらわしているが、この時期は地域の自律的な動きが強まっていったとみることもできる。

問A 下線部イに関連し、心敬が認識する以前にも、鎌倉公方足利満兼が幕府に反乱を起こした人物と結び、兵を進めたことがある。その人名はどれか。

1. 今川貞世(了俊) 2. 大内義弘 3. 土岐康行 4. 細川頼之 5. 山名氏清

問B 下線部ロに関連して述べた次の文X・Y・Zの正誤の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- X 永享の乱では足利持氏と上杉憲実が対立した。 Y 永享の乱で幕府は中立の立場を守った。  
Z 永享の乱後、結城氏朝が挙兵したが、幕府軍の攻撃で敗死した。  
1. X-正 Y-正 Z-誤 2. X-正 Y-誤 Z-正 3. X-正 Y-誤 Z-誤  
4. X-誤 Y-正 Z-正 5. X-誤 Y-誤 Z-正

問C 空欄ハに入る語はどれか。

1. 赤松 2. 管領 3. 将軍 4. 京極 5. 関白

問D 空欄ニに入る語はどれか。

1. 足輕 2. 僧兵 3. 大名 4. 土民 5. 悪党

問E 下線部ホの事態が起きた時の年号はどれか。

1. 永正 2. 寛喜 3. 寛正 4. 弘治 5. 天文

問F 下線部ヘの事態以降の戦乱に関連する説明として、正しいものはどれか。

1. 畠山・細川氏の家督争いが戦乱の要因の1つだった。  
2. 日野富子は養子の義尚を将軍にしようとした。  
3. 足利義尚は乱の余波で将軍になれずに終わった。  
4. 足利義視は当初東軍のもとにあったが、翌年西軍に移った。  
5. 加賀一向一揆は細川勝元の命令で富樫政親を滅ぼした。

問G 下線部トに関連して説明した次の文a~dのうち、正しいものが2つあるが、その組み合わせはどれか。

- a 鎌倉公方の地位に就いていた上杉憲忠の謀殺がきっかけで起きた。  
b 大乱発生時の年号から、現在では享徳の乱といわれる。  
c 堀越公方に対抗して古河公方が立てられた。  
d 堀越公方はのちに伊勢宗瑞(北条早雲)に滅ぼされた。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問H 下線部チについての説明として、正しいものはどれか。

1. 連歌の規則書『応安新式』を制定した。  
2. 東常縁に古今伝授をほどこし、のちに古今伝授の祖とされた。  
3. 『水無瀬三吟百韻』を弟子たちとともによんだ。  
4. 自由な俳諧連歌をうみ出した。  
5. 『菟玖波集』を撰し、勅撰に準ずるとみなされた。

問I 下線部に関連し、室町~安土桃山時代の西日本における文化に関する説明として、誤っているものはどれか。

1. 大内氏のもとでは出版が盛んで、大内版といわれた。 2. 薩摩では、朱熹の『大学章句』が刊行された。  
3. 南村梅軒が薩南学派をおこした。  
4. 桂庵玄樹が肥後などで朱子学を講じた。  
5. 宣教師が金属製の活字による活字印刷術をもたらした。

問J 『ひとりごと』が著されたのと同じ世紀に起きた出来事でないものはどれか。

1. 足利義満による第1回遣明船派遣 2. 応永の外寇 3. 尚巴志の三山統一  
4. コシヤマインの蜂起 5. 寧波の乱

3 次の史料とそれに関連する文を読み、下記の設問(A~J)に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

(史料1)

上様は日本国中の人民を天より預かりなされ候、国主は一国の人民を上様より預かり奉る、家老と士とはその君を助け、その民を安くせん事をはかる者なり

(史料2)

(この書物を)慶長五年よりしるしはじめし事ハ、ハ終りて後、天命一度改りて

(史料3)

古人も、天下は天下の天下、一人の天下にあらずと申し候、まして六十余州は、二より御預かり遊ばされ候御事に御座候へば、かりそめにも御自身のものと思し召すまじき御事に御座候、ホと成らせられ天下を御治め遊ばされ候は、御職分に御座候

江戸幕府がなぜ日本の土地と人民を支配する権限を持っているのか、という問いに対して、当時の人々はどうに考えていたのだろうか。藩主から家臣に対する教諭である史料1は、ホが天から人民を預かっているからだといひ、諸大名の承譜を記す史書である史料2は、ハによって天命が改まったからだといひ説明する。どちらも、天の意志によるものであるとの主張である。これに対して史料3では、ホが二から政務を預かっていると考えている。史料の成立年代は、史料1が17世紀中期、史料2が18世紀初期、史料3が18世紀末期である。いずれも幕府有力者または大名の言葉である。支配層には、幕府支配の正当性を保証するのは天であるとの考えが当初あった。しかし、それが

やがて **二** であるとの考えが有力になっていった。この延長線上に実行されたのが、徳川慶喜による **ト** である。これを支える論理である 大政委任論 は、江戸時代後期における幕府政治の矛盾の広がりの中で強調されていったことなのである。

問A 史料1と史料3はだれの言葉か。組み合わせとして正しいものを選び。

1. 史料1 - 池田光政 史料3 - 松平定信
2. 史料1 - 上杉治憲 史料3 - 前田綱紀
3. 史料1 - 細川重賢 史料3 - 松平慶永
4. 史料1 - 島津重豪 史料3 - 水野忠邦
5. 史料1 - 佐竹義和 史料3 - 保科正之

問B 史料2の出典は、徳川綱豊(後の6代将軍家宣)が儒者に命じて書かせた『藩翰譜』という書物である。この著者が将軍に進言して、実現したものはどれか。

1. 質地の流地を禁止すること。
2. 漢訳洋書の輸入を緩和すること。
3. 学問吟味という試験を開始すること。
4. 朝鮮通信使の待遇を簡素化すること。
5. 蝦夷地開発のため調査隊を派遣すること。

問C 史料1の著者が、下線部イのように解釈した語は、次のうちどれか。

1. 奉公
2. 知行
3. 上知
4. 夫役
5. 参勤

問D 下線部ロについて、正しい解釈はどれか。

1. 家老や藩士は主君のために、領民からできるだけ多くの年貢をとれるように努力すべきだ。
2. 家老や藩士は主君とともに、領民から慕われる将軍に忠誠を誓うべきだ。
3. 家老や藩士は主君を助けて、領民が平穏に暮らせる状態をつくるべきだ。
4. 家老や藩士は主君とともに、領民を守るための武芸を磨くべきだ。
5. 家老や藩士は主君のために、領民から藩主が慕われるように尽くすべきだ。

問E 空欄ハに該当する出来事はどれか。

1. 本能寺の変
2. 朝鮮出兵
3. 関ヶ原の戦い
4. 大坂の陣
5. 島原天草一揆

問F 空欄ニに該当する語に関する説明で、正しいものはどれか。

1. 紫衣事件は、幕府の法令よりも天皇の命令が優先されることが示された事件である。
2. 禁中並公家諸法度は、公家が自ら制定した法令である。
3. 新設された閑院宮家から、江戸時代、天皇は迎えられなかった。
4. 宝暦・明和事件は、尊王論を唱えた生田万が処罰された事件である。
5. 尊号一件は、光格天皇の実父に太上天皇の称号宣下が実現しなかった事件である。

問G 空欄ホに該当する語は、史料3の宛先と同じである。該当する語を選び。

1. 大名
2. 将軍
3. 天皇
4. 老中
5. 国王

問H 下線部ヘに関する説明で、誤っているものはどれか。

1. 文久の改革のとき、将軍後見職に就任した。
2. 幕府の立て直しのため、フランスに援助を求めた。
3. 父は紀州藩主徳川斉昭である。
4. 13代将軍徳川家定の後継候補であった。
5. 戊辰戦争のとき、官軍から朝敵とされた。

問I 空欄トに関する説明で、誤っているものはどれか。

1. この1か月後、討幕の密勅が薩摩藩・長州藩に対して下された。
2. この前提には、公議政体論の構想があった。
3. これを徳川慶喜に直接進言したのは、土佐藩である。
4. この後に宣言された王政復古の大号令により、摂政・関白・将軍の職は廃止された。
5. これより前から、「ええじゃないか」とよばれる民衆騒乱が起こっていた。

問J 民間から下線部チを主張した人物に本居宣長がいる。彼の著作はどれか。

1. 続道真伝
2. 国意考
3. 柳子新論
4. 経世秘策
5. 玉くしげ

4 次の史料I～IIIを読んで、下記の設問(A～J)に答えよ。なお、史料はわかりやすくするために変更した部分もある。

(史料I)

朕、今誓文ノ意ヲ拡充シ、茲ニ **イ** ヲ設ケ以テ立法ノ源ヲ広メ、 **ロ** ヲ置キ以テ審判ノ權ヲ濫クシ、又地方官ヲ召集シ以テ民情ヲ通ジ公益ヲ図リ、漸次ニ国家立憲ノ政体ヲ立テ、汝衆庶ト俱ニ其慶ニ頼ラント欲ス。

(史料II)

嚮ニ明治八年ニ **イ** ヲ設ケ、十一年ニ府県会ヲ開カシム。此レ皆漸次基ヲ創メ、序ニ循テ歩ヲ進ムルノ道ニ由ルニ非ザルハ莫シ。爾有衆、亦朕ガ心ヲ諒トセン。顧ミルニ、立国ノ体、国各宜キヲ殊ニス。非常ノ事業実ニ輕挙ニ便ナラズ。我祖我宗、照臨シテ上ニ在リ、遺烈ヲ揚ゲ、洪模ヲ弘メ、古今ヲ變通シ、断ジテ之ヲ行フ、實朕ガ躬ニ在リ。將ニ明治二十三年ヲ期シ、議員ヲ召シ、国会ヲ開キ、以テ朕ガ初志ヲ成サントス。

(史料III)

施政上ノ意見ハ人々其所説ヲ異ニシ、其合同スル者相投ジテ團結ヲナシ、所謂政党ナル者ノ社会ニ存立スルハ亦情勢ノ免レザル所ナリ。然レドモ政府ハ常ニ一定ノ方向ヲ取り、超然トシテ政党ノ外ニ立チ、至公至正ノ道ニ居ラザルベカラズ。

問A 空欄イに当てはまる語句はどれか。

1. 正院
2. 左院
3. 貴族院
4. 元老院
5. 枢密院

問B 空欄ロに当てはまる語句はどれか。

1. 大審院
2. 弾正台
3. 高等裁判所
4. 最高裁判所
5. 司法省

問C 下線部ハに関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 地方の大地主を集めて会議を行った。
2. 大久保利通が本戸孝允の強い反対を押し切って設置した。本戸が構想した。
3. 三度にわたって開催された。
4. 地方民会についての審議を行った。
5. 憲法草案の審議を行った。

問D 史料Iが出されるきっかけとなった会議に参加した人物について述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 土佐藩出身で、その後参議に復帰した。板垣
2. 薩摩藩出身で、留守政府の中心であった。西郷はいない。
3. 長州藩出身で、五箇条の誓文の起草にかかわった。本戸
4. 公家出身で、のちに内大臣を務めた。
5. 佐賀藩出身で、外務卿を務めた。

問E 下線部二に関して述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 地方税の用途を議定した。
2. 県令は府県会の推薦によって選ばれた。
3. 議員は住民による選挙によって選ばれた。**郡会議員による間接選挙**
4. 自由民権運動の影響を受け、官民対立の場となることもあった。
5. 地方税規則に基づき設置された。

問F 史料Ⅱに基づき実際に設置された際の下線部ホに関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 政府提出法律案の審議権が認められていたが、法案発議権は認められていなかった。
2. 貴族院は衆議院に優越する強い権限を有していた。**同格扱い**
3. 予算審議において憲法上の天皇大権に関する費目を自由に削減することはできなかった。
4. 衆議院で予算が成立しなかった場合、政府は予算の執行ができなかった。
5. 予算は貴族院よりも先に衆議院で審議された。

問G 史料Ⅱはある政治的事件に際して出されたものであるが、その事件の経緯または結果に関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 開拓使官有物の払下げが実行された。**払下げが決定したものの、世論が批判に巻き込まれて中止した。**
2. 土佐藩出身の政治家が政党内閣制の採用を主張する憲法意見書を提出した。
3. 薩摩藩出身で大阪に拠点を置く実業家が世論の批判にさらされた。
4. 慶応義塾出身の官僚複数名が政府を追放された。
5. 自由民権運動が停滞に陥り、一部の人が急進化した。

問H 下線部へに関して述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 日本最初の政党は、国会開設の9年以上前に結成された。
2. 大成会、国民協会など政府寄りの団体は「吏党」と呼ばれた。
3. 自由党の党首板垣退助は、刺客に襲われ死亡する間際に、「板垣死すとも自由は死せず」と語ったとされる。
4. 立憲改進黨はのち進歩党となり、進歩党は自由党と合同して憲政党を結成した。
5. 憲政党の主流は立憲政友会へと合流し、それに反対する人々は憲政本党を結成した。

問I 下線部トの内容に関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 自由党や立憲改進黨とつながりを有する政治家を入閣させることを否定したものである。
2. 政治家は節を曲げるべきではないという個人的な政治道徳を主張したものである。
3. 政党そのものの存在を批判したのではない。
4. 議院内閣制に反対しているものである。
5. のち日本最初の政党内閣において、初めて政党と関係を有する政治家が入閣し、この方針は破られる。

問J 史料Ⅲは憲法発布時の首相の発言であるが、この首相について述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 長州藩出身である。
2. 屯田兵創設を建議した。
3. 陸軍卿や内務卿を務めた。
4. 大隈外相による条約改正交渉の挫折後、首相を辞職した。
5. 憲法調査のためドイツに赴いた。

5 次の文章Ⅰ、Ⅱを読んで、下記の設問(A~J)に答えよ。

Ⅰ

日米和親条約を初めとして、幕府が欧米列強と締結した一連の条約に見られるように、欧米列強は日本を自分たちと対等な国家とは認めておらず、半植民地化しうる対象とみなしていた。この状態を脱して日本を欧米列強に近代国家として認めさせるには、政治面では旧い封建権力の否定と近代的な立憲国家の樹立が必要であり、経済面では工業化の達成が課題となった。

明治政府の殖産興業政策は経済面の課題に対応したものであり、工部省、内務省、農商務省などを通じて様々な工業化促進政策が実施された。そして、1880年代後半に市場を混乱させていた通貨制度が安定すると、紡織業などを中心とした近代化の機械制工場が発達し始め、日本は産業革命期を迎えた。

1900年代に入って本格的に工業化が進むと、設備新設や拡大のために鉄鋼などの資材や機械に対する需要が強まった。しかし、これらの投資財を供給する国内重工業部門の発達には限界があり、投資財需要の増加は輸入拡大による貿易収支の悪化につながった。この重工業や化学工業部門の未成熟という問題は、1930年代初頭に至っても産業構造上の弱点として残存しており、戦前期全般を通じて日本経済の克服すべき課題であり続けた。

問A 下線部イに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 日米修好通商条約で神奈川・長崎・新潟・兵庫の開港を取り決めた。
2. 欧米列強は、日本に滞在する自国民への領事裁判権を認めさせた。
3. 関税については日本側が自主的に税率を決定できなかった。
4. 他国に対して認めた最も良い待遇をお互いに与えあうことが定められた。**片務的最恵国待遇**
5. 外国人が自由に国内を旅行することは認められなかった。

問B 下線部ロに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 1885年、旧来の太政官制を廃止し、内閣制度を創設した。
2. 藩を廃止して府・県とし、旧藩主は府知事・県令に任命された。
3. 華族や士族に支給されていた秩禄を公債を与えて廃止した。
4. 公選議員からなる衆議院と華族や勅任議員などからなる貴族院の二院で構成される帝国議会が開設された。
5. 天皇に大権を認めた大日本帝国憲法が、枢密院の審議を経て1889年に発布された。

問C 下線部ハに関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 官営の富岡製糸場が設立され、フランス式の製糸技術を伝えた。
2. 工部省は横須賀造船所や高島炭鉱など旧幕府・諸藩経営の事業を引き継いだ。
3. 電信や郵便の制度は1870年代に大きく整備され、日清戦後には電話の輸入も実現した。
4. 内国勸業博覧会を開催して産業技術の発達を奨励した。**1877年**
5. 国立銀行条例の改正後、各地に国立銀行が設立され、産業資金の供給に寄与した。

問D 下線部ニに関連して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 製糸業では器械製糸による生産が増大したが、熟練度が繰糸を左右する点で機械技術としては限界があった。
2. 日本鉄道会社が政府の保護を受けずに成功をおさめると、鉄道会社の設立ブームが起こった。
3. 日本銀行や国立銀行が銀行券を増発し、産業革命期の企業発展を支えた。
4. 1897年に繰糸輸出量が繰糸輸入量を上回り、綿業(綿糸・綿織物)部門は貿易黒字を生むようになった。
5. 金に対する銀価値の低落による円安は、産業革命期に輸出産業の成長を支え続けた。

問E 下線部ホに関連して戦前期日本の重化学工業について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 1930年代に重化学工業部門が大きく発展し、1938年には工業生産額の過半を占めるに至った。
2. 1920年代の厳しい経済状況の下で、電力関連の重化学工業部門には成長が見られた。
3. 第一次世界大戦期に染料・化学肥料などの輸入が途絶えたため、化学工業の発達が促された。
4. 第一次世界大戦期の世界的な船舶不足は造船業の躍進をもたらした。
5. 日本製鋼所などを除くと民間製鋼会社の設立は進まなかったため、政府は官営八幡製鉄所の設立に踏み切った。

II

浜口雄幸内閣は **へ** を蔵相に起用し、1930年初頭に金解禁を断行した。この解禁準備の過程で円安の為替相場を **a** 水準の円高に誘導するため、**b** により物価の **c** を実現して経常収支の改善をはかる政策が採用された。解禁後も経常収支悪化の下でこの政策が継続されたため、解禁直前に勃発した世界恐慌による内外需要の激減と不況を誘発する政策の継続によって日本経済は大きな打撃を受けた。

これに対して、政府は **チ** 法を制定してカルテル結成を促すとともに、産業 **リ** による生産性の上昇を通じて貿易収支の改善をはかる政策をとったが、恐慌により市場全体が縮小している下では政策効果に限界があった。

浜口内閣を引き継いだ若槻礼次郎内閣が1931年末に閣内不統一で総辞職すると、犬養毅政友会内閣が発足し、高橋是清が蔵相に就任した。かねてから **へ** 前蔵相に批判的であった高橋は前内閣とは大きく異なる経済政策を展開し、日本経済をいち早く恐慌から脱出させることに成功した。もっとも、公債を財源とする政府支出の増加や **d** 政策が **e** の悪化を招くことを恐れた高橋は、次第に公債累積の主因である **f** 費の抑制につとめるようになった。

問F 空欄へに当てはまる人物の氏名を漢字で記せ。

井上準之助

問G 下線部トの空欄a～cにあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

- 1. a 旧平価 b 財政緊縮 c 引き下げ
- 2. a 新平価 b 財政拡大 c 引き上げ
- 3. a 旧平価 b 金融緩和 c 引き上げ
- 4. a 新平価 b 財政緊縮 c 引き下げ
- 5. a 旧平価 b 金融緩和 c 引き下げ

問H 空欄チに当てはまる語句を漢字6字で記せ。

重要産業統制

問I 空欄リに当てはまる語句を漢字3字で記せ。

合理化

問J 下線部又の空欄d～fにあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

- 1. d 低金利 e インフレ f 公共土木事業
- 2. d 低金利 e デフレ f 軍事
- 3. d 高金利 e インフレ f 公共土木事業
- 4. d 高金利 e デフレ f 軍事
- 5. d 低金利 e インフレ f 軍事

6 次の文章I、IIを読んで、下記の設問(A～I)に答えよ。

I

占領下の民主化政策のもとで、思想や言論に対する国家の抑圧が除去された。1946年1月には『**a**』(岩波書店)、『**b**』(筑摩書房)などの総合雑誌が相次いで創刊され、『中央公論』や『改造』なども復刊された。丸山真男の政治学、大塚久雄の経済史学、川島武宜の法社会学などが論壇にあらわれ、知識人・学生に大きな影響を及ぼした。丸山は、荻生徂徠や福澤諭吉らを取り上げて、日本の政治思想史を研究してきたが、1946年5月に「超国家主義の論理と心理」という論文を発表し、天皇制の問題点を、政治権力と精神的権威を一元的に集中していた点に見だし、それを支えてきた国民意識のあり方が問われなければならないと論じた。マックス・ウェーバー研究を基礎に、経済史学を研究してきた大塚久雄は、「近代的人間類型の創出」なる論文を著し、イギリスなどの歴史と比較しながら、日本では内面的尊厳を重んじるエートス(倫理)が未成熟なため、民主化を問う政治主体の確立が困難であると論じた。また川島武宜は、「日本社会の家族的構成」なる論文を発表し、日本では法秩序や権力だけでなく、家族制度が権威によって人々を服従させる機能を持ったと論じた。

1946年5月には、鶴見俊輔、丸山真男らによって雑誌『思想の科学』が創刊された。人々の思想を経験科学的に研究するとして、学際的な討論や共同研究によって、つぎつぎと成果を発表した。文学でも新しい作品が相次いで発表された。1949年には、あらゆる分野の科学者を代表する機関として、日本学術会議が設立された。

II

中国で共産党の優勢が明らかになった1948年以降、アメリカは対日政策を転換し、日本を政治的に安定した工業国として復興させ、西側陣営の東アジアにおける主要友好国とする政策を採用した。GHQは、日本の経済復興のために積極的な措置をとった。吉田茂内閣で閣議決定され、片山哲・芦田均内閣に引き継がれた **c** 方式は、生産再開の起動力となったが、深刻なインフレが進行した。1948年、GHQは吉田茂内閣に対し、経済安定九原則の<sup>ホ</sup>実行を指令した。これを実施させるために、翌年には銀行家のドッジが派遣され、一連の施策を指示した(ドッジ=ライン)。また1949年には、専門家チームが来日して勧告を行い、これ(**d** 勧告)にもとづく税制の大幅な改正がなされた。ドッジ=ラインによってインフレは収束したが、1949年後半以降、不況が深刻化し、中小企業の倒産が相次いだ。また、行政や企業の人員整理も重なり、失業者が増大した。

1950年に勃発した朝鮮戦争によって、アメリカ軍から武器、弾薬、自動車、機械などの製造・修理の膨大な需要が発生し、日本経済は活気を取り戻した。繊維や金属を中心に生産が拡大し、1951年には工業生産、実質国民総生産などが戦前の水準を回復した。

問A 空欄aに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字で記せ。

世界

問B 空欄bに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字で記せ。

展望

問C 空欄cに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字で記せ。

傾斜生産方式

問D 空欄dに該当する語句を、記述解答用紙の解答欄に記せ。

シャウフ

問E 下線部イについて、丸山、大塚、川島らの社会科学研究が知識人・学生に与えた影響を30字以内の文章にまとめ、記述解答用紙の解答欄に記せ。なお、句読点も1字として数えよ。

専門家と在野の研究者の交流の場となり、学問の裾野を広げた。(30文字)

問F 下線部ロについて、『思想の科学』の創刊時の同人として、誤っている人物を1つマークせよ。

- 1. 武谷三男
- 2. 都留重人
- 3. 大江健三郎
- 4. 渡辺慧
- 5. 鶴見和子

問G 下線部ハに関して、作者と作品の組み合わせとして、誤っているものを1つマークせよ。

- 1. 野間宏 - 青い山脈
- 2. 太宰治 - 斜陽
- 3. 井伏鱒二 - 黒い雨
- 4. 坂口安吾 - 墮落論
- 5. 大岡昇平 - 俘虜記

問H 下線部ニについて、1948年に起きた出来事に関する説明として、誤っているものを1つマークせよ。

- 1. ロイヤル陸軍長官が「日本の経済自立を促し、共産主義の防壁にせよ」と演説した。
- 2. ドレーパー陸軍次官が来日し、日本の賠償軽減と企業分割緩和をGHQに進言した。
- 3. 政令201号で国家公務員法と労働組合法が改正され、すべての労働者が争議権を失った。
- 4. 第二次吉田茂内閣が成立した。
- 5. ケナンの提言で経済復興と再軍備を目指す対日政策が決定した。

公務員の争議権がなくなった

問I 下線部ホについて、経済安定九原則の項目として、誤っているものを1つマークせよ。

- 1. 資金貸出制限
- 2. 賃金安定
- 3. 物価統制
- 4. 食糧集荷改善
- 5. 国債発行

〔以下余白〕